

## 1. 水害被害額（全国）

344,561 百万円

### 〔内 訳〕

・ 一般資産等被害額	86,644 百万円（構成比 25.1%）
・ 公共土木施設被害額	253,469 百万円（構成比 73.6%）
・ 公益事業等被害額	4,448 百万円（構成比 1.3%）

注1) 「一般資産等被害」とは、建物、家庭用品、事業所資産、農作物等に係る物的被害及び事業所営業停止損失等である。

2) 「公共土木施設被害」とは、河川、海岸、砂防設備、道路、港湾、下水道、公園等の施設に係る物的被害である。

3) 「公益事業等被害」とは、鉄道事業、水道事業、電力会社、電気通信事業者等に係る物的被害及び営業停止損失である。

4) 被害額には、人的損失、交通機関のストップなどによる波及被害、被災地の生産減少による他地域への影響等に係るものは含まれていない。

## 2. 水害被害の概要（全国）

### (1) 死傷者数 662名

(〔内訳〕 ○死者 69名 ○行方不明者 13名 ○負傷者 580名)

### (2) 被災建物棟数 20,910棟

(〔内訳〕 ○全壊・流失 368棟 ○半壊 1,526棟  
○床上浸水 4,636棟 ○床下浸水 14,380棟)

### (3) 浸水面積 15,393ha

(〔内訳〕 ○宅地・その他 2,587ha ○農地 12,806ha)

注) 死傷者数は、消防庁調べによるもので、台風13号による竜巻、風害等を含む数値である(この資料において同じ。)

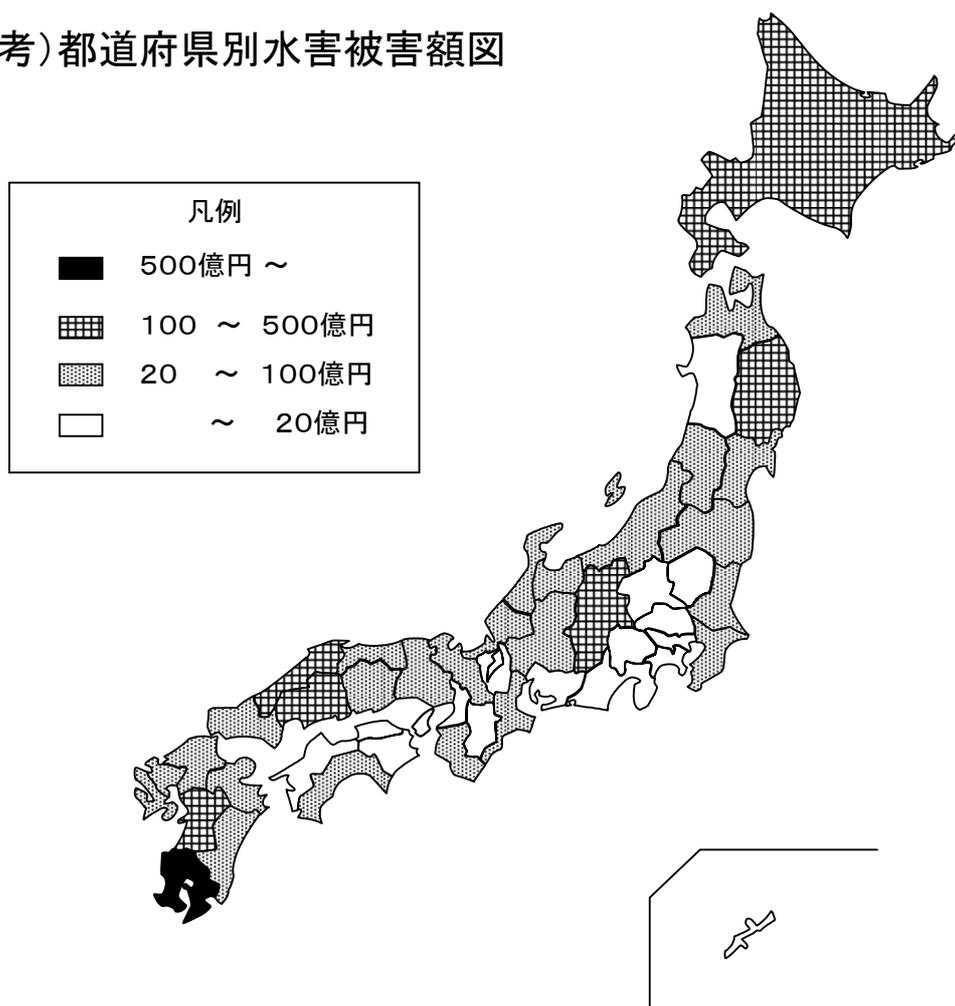
### 3. 都道府県別水害被害額等

(単位：百万円・名)

	都道府県名	水 害 被害額	死傷者数		都道府県名	水 害 被害額	死傷者数
1	鹿児島県	59,616	30	25	兵庫県	3,161	12
2	長野県	48,605	31	26	福井県	3,109	2
3	島根県	28,961	19	27	三重県	2,859	1
4	北海道	24,369	12	28	高知県	2,823	1
5	広島県	17,332	9	29	福岡県	2,719	74
6	岩手県	15,347	6	30	大分県	2,696	10
7	熊本県	12,721	25	31	和歌山県	2,649	5
8	宮城県	9,627	19	32	愛媛県	1,753	3
9	宮崎県	8,421	158	33	静岡県	1,715	0
10	新潟県	8,393	1	34	秋田県	1,688	0
11	岐阜県	7,919	1	35	大阪府	1,583	0
12	青森県	7,418	1	36	埼玉県	1,557	5
13	佐賀県	7,383	34	37	沖縄県	893	71
14	石川県	7,146	0	38	奈良県	788	1
15	長崎県	6,709	71	39	徳島県	767	0
16	鳥取県	5,341	2	40	栃木県	737	2
17	山形県	5,262	2	41	群馬県	607	0
18	岡山県	4,864	1	42	東京都	580	1
19	富山県	4,827	3	43	滋賀県	434	0
20	千葉県	4,651	3	44	愛知県	418	1
21	福島県	4,349	3	45	神奈川県	140	5
22	山口県	4,145	16	46	香川県	44	0
23	茨城県	4,136	17	47	山梨県	9	0
24	京都府	3,290	4		合 計	344,561	662

- 注) 1. 都道府県名は、被害額の大きさの順に並べている。  
 2. 四捨五入の関係で、内訳の合計と水害被害額が一致しない場合がある。  
 3. 死傷者数には、台風13号による竜巻、風害等を含む数値である。

(参考)都道府県別水害被害額図



4. 水害被害額の大きな10市区町村

(単位：百万円・棟数)

	市区町村名	県名	水害被害額	(参考)被災建物棟数
1	さつま町	鹿児島県	20,614	1,272
2	出水市	鹿児島県	10,178	907
3	諏訪市	長野県	6,925	1,792
4	湧水町	鹿児島県	6,673	930
5	岡谷市	長野県	5,683	364
6	松江市	島根県	5,663	1,430
7	薩摩川内市	鹿児島県	5,623	315
8	久慈市	岩手県	5,477	402
9	出雲市	島根県	4,973	193
10	広島市	広島県	4,929	54

注) 市区町村名は、平成18年時点のものである。

## 5. 6月末から7月末にかけての梅雨前線豪雨による水害被害額等（全国）

水害被害額	被害の概要
<p><b><u>198,059</u> 百万円</b></p> <p>〔内訳〕</p> <p>一般資産等被害額 63,659 百万円</p> <p>公共土木施設被害額 132,439 百万円</p> <p>公益事業等被害額 1,961 百万円</p>	<p>○死傷者数 90 名      ○被災建物棟数 12,628 棟</p> <p>○浸水面積 5,603ha</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州付近で梅雨前線が活発化し、平成 18 年 6 月 21 日から 7 月 3 日までの総雨量が九州北部地方の多いところで 700 ミリを超える大雨となった。その後も、断続的に梅雨前線が活発化し、西日本を中心に 1 時間雨量 50 ミリを超える非常に激しい雨が各地で観測された。</li> <li>7 月 15 日から 24 日には、九州から本州付近にかけて梅雨前線が活発化し、長野県、富山県などでは、7 月 15 日から 21 日までの 7 日間の総雨量が多い所で 600 ミリを超えた。また、九州では 18 日から 24 日までの 7 日間の総雨量が多い所で 1,200 ミリを超えた。この間、24 時間雨量が 19 日 10 時頃までに長野県塩尻市木曾平沢で 255 ミリ、23 日 7 時頃までに鹿児島県阿久根市で 622 ミリなど記録を更新した所があった。また、鹿児島県、熊本県、島根県、長野県などでは、総雨量が 7 月の月間平均雨量の 2 倍を超えるなど記録的な大雨となった（「平成 18 年 7 月豪雨」）。</li> <li>これらの大雨により鹿児島県・長野県を中心に九州、中国及び中部地方などで水害が発生した。</li> </ul>